

大転換の時代、リスク対処は必須!

～令和元年度会員大会～
7月22日(参加者360名)

第一部は、国際政治学者三浦瑠麗氏が『ニッポンの大転換』と題し講演。第二部交流パーティーでは福田会頭の開会挨拶、来賓の佐久間新潟県副知事、中原新潟市長の祝辞に続いて、古町芸妓連の踊りも披露され、大いに盛り上がりました。

<三浦氏講演会要旨>

先進国の中で稀にみる政治的安定を達成している日本だが、今まさにその要素を脅かす米中貿易戦争の問題が進行している。今後は、日本が安全保障面で依存している米国と、強大な貿易相手である中国との狭間でうまくやっていくしかなく、この貿易戦争を早く妥結させる外交努力が安倍政権には求められる。

大転換の時代、将来のリスクに敏感になり、いち早く対処していくことが必要だ。



<福田会頭挨拶要旨>

景気の減速が懸念されているが、10月には消費税率引き上げが予定されている。中小企業・小規模事業者の方々は、消費増税対策をはじめ、経営基盤強化に向けた取組が急務となっている。当所ではこのような諸課題に対応する経営支援事業を積極的に実施していく。また、地域活性化に向けては、関係機関と連携して「まちの賑わいづくり」を推進していく。会員企業の繁栄と地域経済の発展に貢献できるよう、今後も全力で取り組んでいく。

本年11月1日

新潟商工会議所の役員・議員が改選されます

当所の役員及び議員は、いずれも今年10月31日をもって3年間の任期が満了となります。

このため、これから新しい役員・議員の選任に向けた手続きを行っていくことになります。

今回の役員・議員改選についてお知らせします。

◆議員改選とは

議員の任期は3年で、現議員は10月末日で任期満了となり、8～10月にかけて、定められた日程に沿って新議員が選出されます。詳しい日程は右下の表をご覧ください。

◆議員とは

会員の中から選任され、当所の最高議決機関である議員総会の構成メンバーとして新潟商工会議所の事業運営に参画していただきます。

総合経済団体として商工業の振興と地域社会の発展を図る当新潟商工会議所の議員は地域経済の代表的存在と言えます。

◆議員の区分とは

議員の定数は140名と定められており、多数の商工業者からの意見が反映できるように様々な業種からバランスの取れた構成となるように1号議員、2号議員、3号議員の3区分があります。

- ・1号議員(定数70名)…会員のうちから選挙によって選ばれる議員です。なお、立候補者が定数を超えないときは無投票当選となります。
- ・2号議員(定数49名)…会員が所属する業種別部会(8部会)から選出される議員です。部会毎の議員割当数は、部会の会員数及び会費額を勘案して決定され、各部会を開催して選出します。

- ・3号議員(定数21名)…会頭が常議員会の同意を得て会員の中から選任します。

以上のように、議員の選挙・選任方法が異なるだけで、議員としての権利や義務に差はありません。

◆役員を選任

会頭、副会頭、専務理事、常議員、監事は来る11月1日に開催される臨時議員総会で選任されます。

【役員】

- ・会頭(1名)…議員総会において会員のうちから選任
- ・副会頭(4名)…議員総会の同意を得て会頭が会員のうちから選任
- ・専務理事(1名)…議員総会の同意を得て会頭が選任
- ・常議員(46名)…議員総会において議員のうちから選任
- ・監事(3名)…議員総会において会員のうちから選任

2019年度 新潟商工会議所議員選挙・選任日程	
<1号議員70名>	
期 日	内 容
8/19(月)～8/28(水)	選挙人名簿閲覧期間
9/9(月)	選挙期日告示
9/9(月)～10/4(金)	立候補受付期間
10/4(金)	立候補届出締切
10/9(水)	選挙期日
<2号議員49名>	
期 日	内 容
9/24(火)	常議員会で2号議員部会別割当数決定
9/24(火)～10/8(火)	2号議員を各部会で選出
<3号議員21名>	
期 日	内 容
10/21(月)	常議員会で3号議員選任

物流セミナー in 新潟貨物ターミナル駅～輸送業部会（高橋哲哉部会長）～
6月25日（参加者15人）

日本貨物鉄道(株)関東支社 新潟支店 担当課長 霜鳥裕介氏を講師に現地講演会を開催しました。

霜鳥氏は、鉄道コンテナ輸送のメリットとして「長距離になるほど輸送コストが低減できること」「高い安全性、定時性を持つこと」などを挙げたほか、環境にやさしい輸送手段であることを強調しました。また、講演後には、実際に駅内で行われている荷物の積み下ろしの様子やさまざまなコンテナを見学しました。

**台湾の日系企業を視察**～工業部会（渋井信之部会長）～
7月3日～6日（参加者13名）

今回の海外視察では、台湾ナミックス(株)と(公財)日本台湾交流協会を訪問し情報交換を行いました。台湾ナミックス(株)は、東日本大震災後BCP対策として、災害時に共倒れリスクが少ない海外への進出を決定しました。台湾を選定した理由は、インフラ面や顧客サービス面、さらに半導体の大手顧客が集約されていることなどを考慮した結果との説明を受けました。

また、(公財)日本台湾交流協会では、台湾の経済状況や日系企業の進出動向などについて説明を受けました。

**台湾ビジネスセミナー**～新潟国際ビジネス研究会（座長：木村誠）～
7月4日（参加者36人）

「台湾概況と日台経済関係」をテーマに、台北駐日経済文化代表処 經濟部 部長 周立 氏を講師に迎え、講演会を開催しました。

周氏は、日本と台湾の交流の歴史や経済事情などについて説明し、台湾は日本企業にとって最善のパートナーであると述べました。

講演後に設けられた質疑応答の時間には、参加者から多くの質問があり、台湾への関心度の高さが窺えました。

**高等学校に地元企業への就職を要請**

7月10日・16日

当所と亀田商工会議所、新潟市、新潟公共職業安定所(ハローワーク新潟)は共同で、新潟市内の高等学校(8校)に出向き、ハローワーク新潟管内企業への就職要請を行いました。同管内における平成31年3月の高校卒業者の求人倍率は3.57倍と高い一方で、管内就職率は55.6%と前年を3ポイント下回り、管外への流出が進む傾向となっています。

10日に訪問した新潟商業高校では、当所の早福弘専務理事が仲野孝校長に対し、「地元企業の魅力を知ってもらい、新潟地域を担う有能な人材が地元に着定するよう、ご指導いただきたい」などとする要請文書を手渡しました。

梅雨の時期を吹き飛ばす盛り上がり～商工クラブ（理事長：南波秀憲副会頭）～
7月8日（納涼大会参加者73名）

新潟商工会議所会員の親睦団体である商工クラブは、理事会・総会合同会議を開催し、38名の会員が参加しました。

会議では協議事項の平成30年度事業報告・決算と令和元年度事業計画・予算が承認されました。

その後、第54回納涼大会を開催し、参加者は飲食を楽しみながら交流し、恒例の抽選会で盛り上がるなど、大いに親睦を深めました。

**VISIONARY FURUMACHI 3rd "FUTURE"**

7月20日（参加者19名）

30歳以下の若者に、古町の魅力を発信するトークイベント、「VISIONARY FURUMACHI」を開催しました。

通算3回目となる今回は、3rd「FUTURE」と銘打ち、古町芸妓のあおいさんを講師に迎えて、花街文化の雰囲気の色濃く残す、「旧美や古」を会場に、ナビゲーターの立石勇生氏(FMPORTナビゲーター)や参加者も交えたクロストークを行いました。

初めて芸妓を間近で目にする受講者もいる中、あおいさんの気さくな人柄や軽妙な話しぶりに引き込まれていました。

